２０１１年（平成２３年）１２月１６日　金曜日

デーリー東北新聞　掲載

デーリー東北賞贈呈式後の昼食会で懇談する受賞者ら
＝15日、八戸グランドホテル

「一層の努力続ける」

デーリー東北賞 受賞者決意新た

15日に八戸グランドホテルで行われた「第40回デーリー東北賞」「デーリー東北特別賞」の贈呈式。式典後の昼食会で、受賞者たちは「名誉ある賞を頂き大変光栄」「一層の努力を続けていきたい」などと、お礼の言葉とともに今後の活動への決意を披露した。出席者からはこれまでの活躍をたたえる拍手が送られ、会場は祝賀ムードに包まれた。

【1ページに本記】

昼食会では、画家の久保田政子さんが「戦争で犠牲になった馬たちを供養するため、1万頭を描くという目標を達成したい」と今後の創作活動に向けて意欲を語った。

八戸フォーラムの長澤裕二社長は「受賞を励みに、これからも市民に愛される映画館を目指していく」と決意を新たにした。

光星学院高校の法官新一校長は「硬式野球部が全国区のチームになれたのも、地域の人々の支えがあったからこそ」と感謝の気持ちを表した。

最後に、贈呈式に同席した光星高校硬式野球部の仲井宗基監督と、夏の甲子園準優勝時に主将を務めた川上竜平君が、出場が確実視される来春のセンバツやプロ入り後に向けて決意表明。

仲井監督は「本当の日本一を目指し、センバツでは優勝旗を八戸に持ち帰りたい」、川上君は「プロとしての自覚を持ち、早くテレビに出られる選手になれるよう、全力で頑張る」と、さらなる活躍を誓った。

デーリー東北新聞社提供